



総合社会学部

2011

履修要項

総合社会学部履修要項

平成23年度入学生用

はじめに

総合社会学部では、視点の異なる学問分野を連携させ教育の土台に据えることで、現代の社会が直面する複雑化した問題を多面的・多角的に理解することができ、多様な見方を総合化していく力の養成をめざします。また、語学教育や国際関係科目を充実させることにより、国際舞台でも活躍できるグローバルな視点を持つ力の養成をめざします。そのような理念のもとに、総合社会学部の教育課程として、「共通教養科目」、「外国語科目」と本学部独自の「学部共通コア科目」を用意し、本学部教育の土台を形成しています。その土台の上に、各専攻は「専門科目」を基礎から発展へと系統的に編成することによって教育課程の体系性を確保しています。

- ・「共通教養科目」は、1年次必修科目の「基礎ゼミ」を起点としたもので、幅広い知識と社会人としての基礎力の育成をめざしていきます。
- ・「外国語科目」では、コミュニケーション能力の育成とともにグローバルな視点を養成していきます。
- ・「学部共通コア科目」では、どの専攻に所属しようとも必ず受講すべき科目を用意しており、これらの科目では、学際的な学部としての総合的・実証的な視点を養います。このコア科目は、人々の心的活動や行動（心理）・社会システム（社会）・自然と社会の関係（環境）といった、ミクロな視点からマクロな視点までを網羅した各専攻の専門科目の基盤となる科目群です。
- ・「専門科目」が各専攻に配列されており、これは学部教育の土台と接続した教育の柱となるものです。社会・マスメディア系専攻と環境系専攻では「専攻共通科目」から「専門発展科目」へと、心理系専攻では「専門基礎科目」から「専門発展科目」へと体系的な教育課程を編成しています。

さらに、「専門基礎演習」（「学部共通コア科目」の中の一つ）、各専攻に分かれての「講読」、「演習」、「卒業論文」「卒業制作」といった、少人数ゼミナール形式の科目（必修科目）を4年間一貫して用意し教育を行います。

履修要項について

本履修要項では、総合社会学部に入学した皆さんが進級・卒業、そして学生生活を送るうえで、重要な事項について記しています。

履修要項は再発行しませんので、卒業まで大切に保管してください。

目 次

はじめに	
1. 総合社会学部構成	1
2. 学期および授業時間	1
学期	1
授業時間	1
3. 教育課程	1
学年制	1
科目	1
必修科目・選択科目	2
4. 単位制、キャップ (CAP) 制、グレード・ポイント・アベレージ (GPA) 制度	2
単位の考え方	2
キャップ (CAP) 制	2
グレード・ポイント・アベレージ (GPA) 制度	3
グレード・ポイント・アベレージ (GPA) 制度に基づいた履修取り下げ	3
5. 進級および卒業に関わる要件・カリキュラム表	3
進級要件	3
コース選択 (社会・マスメディア系専攻、環境系専攻)	4
卒業要件	4
カリキュラム表	6
6. 科目の履修	12
学年配当制	12
履修登録と履修計画	12
通常履修・再履修	12
7. 試験区分	12
定期試験	12
臨時試験	12
追試験	13
再試験	13
8. 受験の心得	13
試験	13
受験資格	13
不正行為等	13
9. 成績評価、成績通知、成績照会、学長賞・学部長賞	13
成績評価	13
成績通知	14
成績照会	14
学長賞・学部長賞	14
10. 特待生制度	14